

# 社会資本総合整備計画

のぼりべつひがしちくとしさいせいせいびけいかく  
登別東地区都市再生整備計画

令和3年8月  
北海道 登別市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

令和2年12月

計画の名称				登別東地区都市再生整備計画					重点配分対象の該当											
計画の期間				令和3年度～令和5年度（3年間）		交付対象		登別市												
計画の目標				<ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信拠点施設を中核とした賑わいのあるまちづくり</li> <li>登別駅周辺の一体的整備と地域創造によるまちの活性化</li> </ul>																
計画の成果目標（定量的指標）				①（仮称）登別市情報発信拠点施設（地域交流センター）利用者数を17,297人（R1）から18,500人（R5末）に増加。 ②歩行者通行量を745人（H29）から790人（R5末）に増加。																
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（R1）      中間目標値      最終目標値（R5）					備考											
①令和5年度の（仮称）登別市情報発信拠点施設（地域交流センター）の利用者数を調査する。				17,297人				18,500人												
②登別駅周辺の歩行者通行量を調査する。				(H29) 745人				790人												
全体事業費		合計 (A+B+C+D)		454百万円		A		454百万円		B		C		D		効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)				
交付対象事業																				
A 基幹事業																				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考			
									R3	R4	R5	R6	R7							
A10-001	都市再生	一般	登別市	直接	登別市	登別東地区都市再生整備計画事業	事業区域 A=48ha	登別市						454						
													合計		454					
B 関連社会資本整備事業																				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考			
									R3	R4	R5	R6	R7							
													合計							
C 効果促進事業																				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考					
									R3	R4	R5	R6	R7							
													合計							
番号																	一体的に実施することにより期待される効果		備考	
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考					
									H〇〇	H〇〇	H〇〇	H〇〇	H〇〇							
													合計							
番号																	一体的に実施することにより期待される効果		備考	

交付金の執行状況

(単位:百万円)

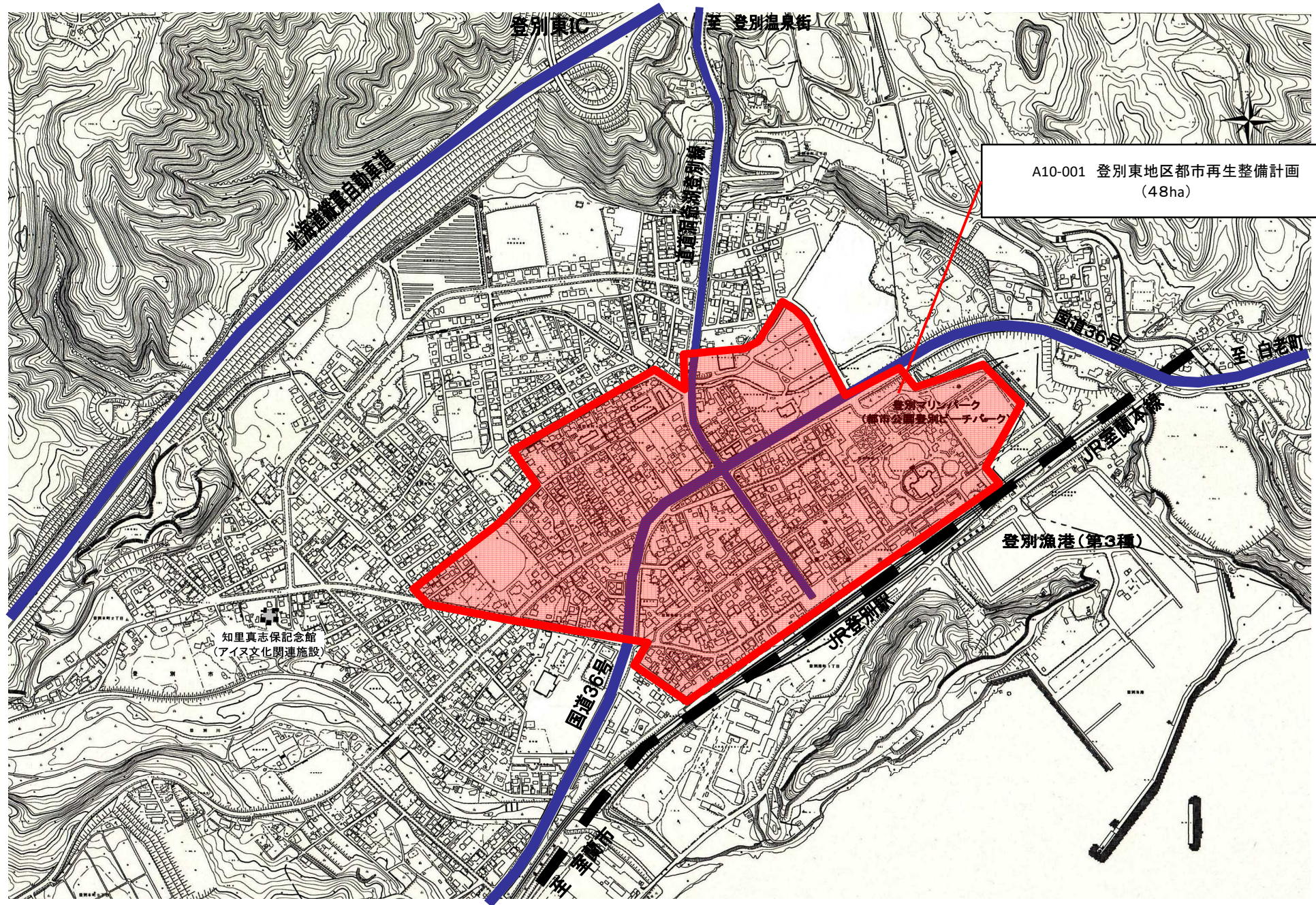
	R3	R4	R5	R6	R7
配分額 (a)	33.2				
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)	33.2				
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))					
未契約繰越+不用率が10%を超えている場 合その理由					

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。



(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金 記載例)

計画の名称	登別東地区都市再生整備計画	交付対象	登別市
計画の期間	令和3年度～令和5年度(3年間)		



A10-001 登別東地区都市再生整備計画  
(48ha)



# 都市再生整備計画(第1回変更)

のほりべつひがし  
登別東地区

ほっかいどう のほりべつ  
北海道 登別市

令和3年8月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

・様式は、A4印刷とすること。



計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【情報発信拠点施設を中核とした賑わいのあるまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(仮称)登別市情報発信拠点施設の整備にあたり、老朽化や耐震安全性の不足、バリアフリー未対応等の課題を抱える当地区の既存公共施設を集約し、地域住民等施設利用者の安全安心の確保と利便性の向上を図るとともに、人口減少を見据えたコンパクトなまちづくりを推進する。</li> <li>・拠点施設には、当地区が持つ特性を生かし、観光客等に対する情報発信機能を設けることのほか、地域交流の場として、地区住民等が集い、楽しむことができるよう、サークル等の活動スペースはもとより、フリースペースやキッズコーナー等を備えることに加え、施設利用者が利用可能なWi-Fiを整備するなど、その内容を充実させ、利用者の利便性や満足度の向上を図る。</li> <li>・このほか、登別駅前には路線バスの停留所が設置されているものの、都市間高速バスは同駅からやや距離のある国道36号からのアクセスとなり、利便性が十分とは言えない状況にあることから、施設駐車場について交通結節点としての活用を図るため、バス事業者と協議を重ね、都市間高速バスの乗り入れが可能となるよう進めている。</li> <li>・これらを通じて、多くの人々が行き交う、賑わいあるまちづくりを進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路:市道石山通り</li> <li>・地域生活基盤施設:案内サイン</li> <li>・高質空間形成施設:登別駅前鬼花壇、(仮称)登別市情報発信拠点施設前モニュメント、カバードウォーク</li> <li>・高次都市施設:(仮称)登別市情報発信拠点施設</li> <li>・地域創造支援事業:(仮称)登別市情報発信拠点施設Wi-Fi</li> <li>・関連事業:登別港町((仮称)登別市情報発信拠点施設整備事業、登別駅前広場整備事業)、登別東町(地域医療機能推進機構JCHO登別病院整備事業)</li> </ul>
<p>【登別駅周辺の一体的整備と地域創造によるまちの活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登別観光の強みを生かし、登別駅周辺において、市道石山通りや案内サイン、拠点施設の整備といった基幹事業を一体的に進める。</li> <li>・拠点施設では、観光インフォメーションにおいて、登別のまちの魅力をはじめ、飲食店やホテル・旅館、体験メニューなどの情報を発信するほか、手荷物預かり等を導入することにより、施設利用者を登別駅周辺の飲食店等に誘導し、地元商店会等の協力も得ながら賑わい創出を図る。</li> <li>・これらに加え、創業支援や商店街活性化支援などの取組を併せて進めることにより、まちの活性化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路:市道石山通り</li> <li>・地域生活基盤施設:案内サイン</li> <li>・高質空間形成施設:登別駅前鬼花壇、(仮称)登別市情報発信拠点施設前モニュメント、カバードウォーク</li> <li>・高次都市施設:(仮称)登別市情報発信拠点施設</li> <li>・地域創造支援事業:登別東町(事業所開設費補助金、空き店舗活用事業補助金、商店街活性化支援事業補助金、店舗リフォーム補助金)、(仮称)登別市情報発信拠点施設Wi-Fi</li> <li>・関連事業:登別港町((仮称)登別市情報発信拠点施設整備事業、登別駅前広場整備事業)、登別東町(地域医療機能推進機構JCHO登別病院整備事業)</li> </ul>
<p>その他</p>	
<p>【まちづくりの住民参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登別東地区に関する各種事業の実施にあたっては、地区住民等との意見交換により合意形成を図っている。</li> <li>・特に本整備計画の基幹となる(仮称)登別市情報発信拠点施設の整備にあたっては、登別商工会議所や登別国際観光コンベンション協会、登別温泉旅館組合のほか、地元商店会や町内会、まちづくり団体などで構成する登別地区観光まちづくり協議会を中心に複数回にわたり意見交換、協議を重ね、市はここで得られた意見等を事業に反映するよう努めている。</li> <li>・また、集約化の対象となる公共施設を現に利用している団体等に対しては、個別にヒアリングを行い、主にコミュニティ活動を行うにあたっての要望を聴取するとともに、将来を見据え、当該団体の活動を生かした中で、地区住民と観光客との交流が実現できるよう意見交換を行うなど、施設利用者・観光客双方の利便性や満足度の向上、地域の賑わいの創出につながるよう、地区との協働により事業推進を図っている。</li> </ul> <p>【アイヌ文化の発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民族共生象徴空間ウポポイは、アイヌ文化の復興等に関するナショナルセンターとして、アイヌの歴史・文化の理解促進や将来に向けてアイヌ文化を継承し、新たなアイヌ文化の創造発展につなげるための拠点として、白老町のポロ湖畔を中心に整備された。</li> <li>・白老町に隣接する本市では、これを契機として、国内からの来訪者だけでなく、外国人観光客の集客が期待できることから、多くの観光客が集積するJR登別駅周辺において、アイヌ文化に対する興味・関心を高め、民族共生象徴空間ウポポイへの訪問意欲を喚起するため、その案内機能を充実させ、拠点施設への誘客や拠点施設からの送客を図り、登別・白老地域の周遊拠点としての役割を担うこととしている。</li> </ul>	









# 登別東地区(北海道登別市) 整備方針概要図

目標	・情報発信拠点施設を中核とした賑わいのあるまちづくり ・登別駅周辺の一体的整備と地域創造によるまちの活性化	代表的な指標	(仮称)登別市情報発信拠点施設(地域交流センター)利用者数 (人/年)	17,297 (令和元年度)	→	18,500 (令和5年度)
			歩行者通行量 (人/日)	745 (平成29年度)	→	790 (令和5年度)

